AWS Builders Online Series

ネットワーク管理者版 AWS ことはじめ

菊地 信明

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
技術統括本部
ソリューションアーキテクト ネットワークペシャリスト

aws

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

自己紹介

名前：　菊地 信明（きくち のぶあき）

所属：　アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
技術統括本部　ネットワークソリューション部
ソリューションアーキテクト
ネットワークスペシャリスト

好きなAWSサービス：
AWS Direct Connect, AWS Transit Gateway, AWS Site-to-Site VPN

ご質問は、ハッシュタグをつけてツイートしてください： #AWSBuilders

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

概要

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

このセッションの対象となる方

- 「これからクラウド環境で作るから、ネットワーク設計よろしくねっ！」っと言われてしまったオンプレミスネットワークの管理者
- アプリケーション担当者だけど、ネットワーク担当者不在で自分が設計するしかない状況の(辛い)エンジニア
- クラウド上のシステムと(突然)連携する事になった、オンプレミスのシステムを管理されている方

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

このセッションの概要

AWSクラウドを利用することを知らされたネットワーク管理者は、まず最初に何をすべきでしょうか？

クラウドとプライベートIPで通信するには？アドレス設計は？必要な帯域は？冗長化は？・・・それらの要件を満たす全体構成は？

などなど、確認することは多いですよね。

このセッションでは、AWS上でネットワークを設計する際に決めなくてはならない事、後から変更できる事などを中心に、ネットワーク管理者の視点で、AWSネットワークとその周辺サービスについておおまかに説明します。

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

このセッションでお話しないこと

本セッションではAWSクラウドを使う上での全体的なネットワーク構成を主題にしています。Amazon VPCの内部の構成、利用する各サービスについての詳細説明は対象外となります。

今回の説明でVPCの概要を理解した方は、AWS Black Beltオンラインセミナーにおけるの解説をご確認ください。

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

これを見た人は何がうれしいか？

このセッションを見たネットワーク管理者は・・・

1. AWSネットワークを設計する際に、最初に気をつけなければならない確認ポイントを知ることができる

2. AWSでネットワークを構成する際にVPC内外に配置する要素を理解できるようになる

3. AWSでネットワーク設計をする際に、詳細な資料の探し方を理解できる

・・ようになっていることを目的とします。

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

アジェンダ

- **概要**
  - ✓ このセッションの対象となる方
  - ✓ これを見た人は何がうれしいか？
- **ネットワークの検討がなぜ必要なのか？**
  - ✓ ネットワーク検討ポイントの例
  - ✓ 最初にどんな要件を確認すればよいか？
- **確認した要件を基本的なパターンにあてはめてみる**
  - ✓ 何を基準に考える？
  - ✓ パターン１～パターン4

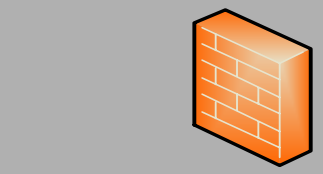
© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワークの検討が
なぜ必要なのか？

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワークの検討がなぜ必要なのか？

オンプレミスや仮想環境でも、収容するシステム・アプリケーションの要件に基づいて、必要な機能や帯域などをあらかじめ用意する必要があります。



ファイアウォール

アクセス
コントロール
リスト

OSへの通信制御
(Windows Firewall、
IPtables etc.)

基幹ネットワーク

コアルーター

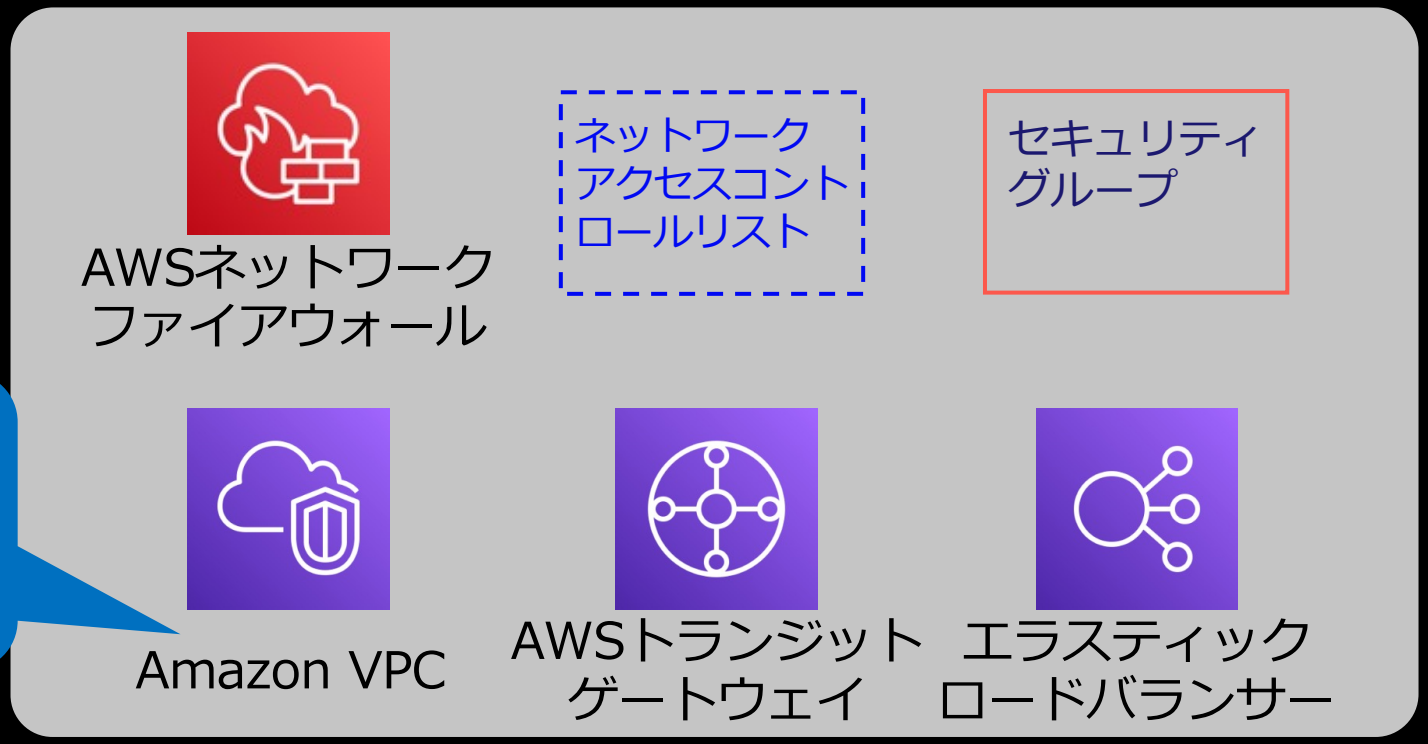
ロードバランサー

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワークの検討がなぜ必要なのか？

構成要素を予め確認し、それらの利用が要件に見合うかを確認するのは、AWSクラウドでも同様です。

以下はAWSでネットワーク構成を検討する際に利用するサービスですが、おおよそ、オンプレミス同様の機能を利用できます。



AWSクラウドで仮想ネットワークを構成する重要な役割

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク検討ポイントの例

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク検討ポイントの例

AWSクラウドでは、これらの要素のうち、「後から、**容易に変更可能**なもの」と「変更するために、多くの考慮・検討が必要なもの」があります

考慮ポイント例	用意するリソース・選択肢	後からの変更	備考
利用するリージョン（国・地域）	東京リージョン、大阪リージョン、海外のリージョン	多くの考慮・検討が必要	利用するリージョンにより、費用やレイテンシーが異なる
インターネット接続	インターネットゲートウェイ、NATゲートウェイ、閉域接続のみ	考慮・検討が必要	VPCとインターネット間接続の要否
オンプレミスとの閉域接続	VPN or 専用線経由の接続	多くの考慮・検討が必要	お客様にて閉域網の手配が必要
VPC間の接続	プライベートリンク、VPCピアリング、トランジットゲートウェイ	容易に変更可能	VPC数が多くなると作業対象が多い
VPCで利用するIPアドレス	オンプレミスと重複しないプライベートIPを用意	考慮・検討が必要	IPアドレスCIDRの追加は可能

ネットワーク検討ポイントの例

AWSクラウドでは、これらの要素のうち、「後から、**容易に変更可能**なもの」と「変更するために、多くの考慮・検討が必要なもの」があります

考慮ポイント例	用意するリソース・選択肢	後からの変更	備考
利用するリージョン（国・地域）	東京リージョン、大阪リージョン、海外のリージョン	多くの考慮・検討が必要	利用するリージョンにより、費用やレイテンシーが異なる
インターネット接続	インターネットゲートウェイ、NATゲートウェイ、閉域接続のみ	考慮・検討が必要	VPCとインターネット間接続の要否
オンプレミスとの閉域接続	VPN or 専用線経由の接続	多くの考慮・検討が必要	お客様にて閉域網の手配が必要
VPC間の接続	プライベートリンク、VPCピアリング、トランジットゲートウェイ	容易に変更可能	VPC数が多くなると作業対象が多い
VPCで利用するIPアドレス	オンプレミスと重複しないプライベートIPを用意	考慮・検討が必要	IPアドレスCIDRの追加は可能

ネットワーク検討ポイントの例

AWSクラウドでは、これらの要素のうち、「後から、**容易に変更可能**なもの」と「変更するために、多くの考慮・検討が必要なもの」があります

考慮ポイント例	用意するリソース・選択肢	後からの変更	備考
利用するリージョン（国・地域）	東京リージョン、大阪リージョン、海外のリージョン	多くの考慮・検討が必要	利用するリージョンにより、費用やレイテンシーが異なる
インターネット接続	インターネットゲートウェイ、NATゲートウェイ、閉域接続のみ	考慮・検討が必要	VPCとインターネット間接続の要否
オンプレミスとの閉域接続	VPN or 専用線経由の接続	多くの考慮・検討が必要	お客様にて閉域網の手配が必要
VPC間の接続	プライベートリンク、VPCピアリング、トランジットゲートウェイ	容易に変更可能	VPC数が多くなると作業対象が多い
VPCで利用するIPアドレス	オンプレミスと重複しないプライベートIPを用意	考慮・検討が必要	IPアドレスCIDRの追加は可能

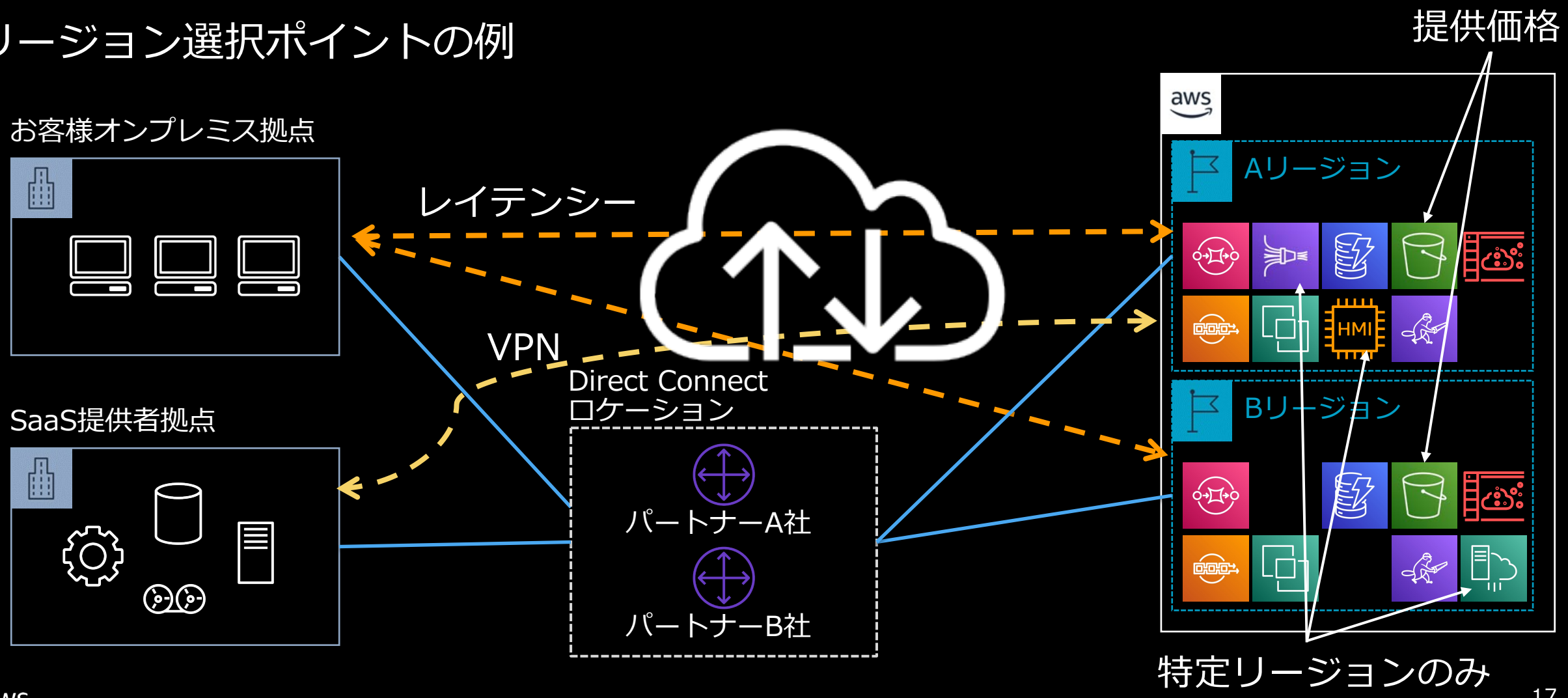
ネットワーク検討ポイントの例

AWSクラウドでは、これらの要素のうち、「後から、**容易に変更可能**なもの」と「変更するために、多くの考慮・検討が必要なもの」があります

考慮ポイント例	用意するリソース・選択肢	後からの変更	備考
利用するリージョン（国・地域）	東京リージョン、大阪リージョン、海外のリージョン	多くの考慮・検討が必要	利用するリージョンにより、費用やレイテンシーが異なる
インターネット接続	インターネットゲートウェイ、NATゲートウェイ、閉域接続のみ	考慮・検討が必要	VPCとインターネット間接続の要否
オンプレミスとの閉域接続	VPN or 専用線経由の接続	多くの考慮・検討が必要	お客様にて閉域網の手配が必要
VPC間の接続	プライベートリンク、VPCピアリング、トランジットゲートウェイ	容易に変更可能	VPC数が多くなると作業対象が多い
VPCで利用するIPアドレス	オンプレミスと重複しないプライベートIPを用意	考慮・検討が必要	IPアドレスCIDRの追加は可能

最初にどんなことを考えればよい？

リージョン選択ポイントの例



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

最初にどんなことを考えればよい？

リージョン：　オンプレミスと異なり、データセンターへ直接行く必要は無い。
以下のような観点で選択する

考慮ポイント例	確認方法	備考
実際のレイテンシー	テスト用のアカウントを取得し、pingやtraceroute、curlなどで計測	インターネット経由で揺らぎが発生する事がある
利用可能サービス	公開資料「AWS リージョン別のサービス」にて確認する	特定リージョンで利用できないサービスもある
Direct Connectパートナーの対応有無	公開資料「AWS Direct Connect デリバリーパートナー」にて確認する	閉域網の手配についてもパートナーへ相談可能
AWSサービスの利用価格	各サービスの料金ページにて確認する	”AWS”,”対象サービス名”,”料金”で検索
連携するシステムや他社サービスとの兼ね合い	通信するデータセンターやサードパーティーが対応しているリージョン	各システム・サービスとの接続方法を確認

最初にどんなことを考えればよい？

リージョン：　オンプレミスと異なり、データセンターへ直接行く必要は無い。
以下のような観点で選択する

考慮ポイント例	確認方法	備考
実際のレイテンシー	テスト用のアカウントを取得し、pingやtraceroute、curlなどで計測	インターネット経由で揺らぎが発生する事がある
利用可能サービス	公開資料「AWS リージョン別のサービス」にて確認する	特定リージョンで利用できないサービスもある
Direct Connectパートナーの対応有無	公開資料「AWS Direct Connect デリバリーパートナー」にて確認する	閉域網の手配についてもパートナーへ相談可能
AWSサービスの利用価格	各サービスの料金ページにて確認する	”AWS”,”対象サービス名”,”料金”で検索
連携するシステムや他社サービスとの兼ね合い	通信するデータセンターやサードパーティーが対応しているリージョン	各システム・サービスとの接続方法を確認

最初にどんなことを考えればよい？

リージョン：　オンプレミスと異なり、データセンターへ直接行く必要は無い。
以下のような観点で選択する

考慮ポイント例	確認方法	備考
実際のレイテンシー	テスト用のアカウントを取得し、pingやtraceroute、curlなどで計測	インターネット経由で揺らぎが発生する事がある
利用可能サービス	公開資料「AWS リージョン別のサービス」にて確認する	特定リージョンで利用できないサービスもある
Direct Connectパートナーの対応有無	公開資料「AWS Direct Connect デリバリーパートナー」にて確認する	閉域網の手配についてもパートナーへ相談可能
AWSサービスの利用価格	各サービスの料金ページにて確認する	”AWS”,”対象サービス名”,”料金”で検索
連携するシステムや他社サービスとの兼ね合い	通信するデータセンターやサードパーティーが対応しているリージョン	各システム・サービスとの接続方法を確認

最初にどんなことを考えればよい？

リージョン：　オンプレミスと異なり、データセンターへ直接行く必要は無い。
以下のような観点で選択する

考慮ポイント例	確認方法	備考
実際のレイテンシー	テスト用のアカウントを取得し、pingやtraceroute、curlなどで計測	インターネット経由で揺らぎが発生する事がある
利用可能サービス	公開資料「AWS リージョン別のサービス」にて確認する	特定リージョンで利用できないサービスもある
Direct Connectパートナーの対応有無	公開資料「AWS Direct Connect デリバリーパートナー」にて確認する	閉域網の手配についてもパートナーへ相談可能
AWSサービスの利用価格	各サービスの料金ページにて確認する	”AWS”,”対象サービス名”,”料金”で検索
連携するシステムや他社サービスとの兼ね合い	通信するデータセンターやサードパーティーが対応しているリージョン	各システム・サービスとの接続方法を確認

最初にどんなことを考えればよい？

リージョン：　オンプレミスと異なり、データセンターへ直接行く必要は無い。
以下のような観点で選択する

考慮ポイント例	確認方法	備考
実際のレイテンシー	テスト用のアカウントを取得し、pingやtraceroute、curlなどで計測	インターネット経由で揺らぎが発生する事がある
利用可能サービス	公開資料「AWS リージョン別のサービス」にて確認する	特定リージョンで利用できないサービスもある
Direct Connectパートナーの対応有無	公開資料「AWS Direct Connect デリバリーパートナー」にて確認する	閉域網の手配についてもパートナーへ相談可能
AWSサービスの利用価格	各サービスの料金ページにて確認する	”AWS”,”対象サービス名”,”料金”で検索
連携するシステムや他社サービスとの兼ね合い	通信するデータセンターやサードパーティーが対応しているリージョン	各システム・サービスとの接続方法を確認

最初にどんなことを考えればよい？

リージョン：　オンプレミスと異なり、データセンターへ直接行く必要は無い。
以下のような観点で選択する

考慮ポイント例	確認方法	備考
実際のレイテンシー	テスト用のアカウントを取得し、pingやtraceroute、curlなどで計測	インターネット経由で揺らぎが発生する事がある
利用可能サービス	公開資料「AWS リージョン別のサービス」にて確認する	特定リージョンで利用できないサービスもある
Direct Connectパートナーの対応有無	公開資料「AWS Direct Connect デリバリーパートナー」にて確認する	閉域網の手配についてもパートナーへ相談可能
AWSサービスの利用価格	各サービスの料金ページにて確認する	”AWS”,”対象サービス名”,”料金”で検索
連携するシステムや他社サービスとの兼ね合い	通信するデータセンターやサードパーティーが対応しているリージョン	各システム・サービスとの接続方法を確認

最初にどんな要件を確認すればよいか？

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク接続に関する主な要件

IPアドレスの管理

- オンプレミスとAmazon VPCのIPを重複させない

接続要件

- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する

VPCから各サービスへの接続方法

- DNSのリゾルバーやプライベートホストゾーン指定
- 各AWSサービスの利用方法

セキュリティ要件

- ファイヤーウォール、ウェブアプリケーションファイヤーウォール

監視・運用

- 監視方法
- 通信ログや名前解決ログ
- トラブルシュート時のデータキャプチャポイント設計

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク接続に関する主な要件

IPアドレスの管理

- オンプレミスとAmazon VPCのIPを重複させない

接続要件

- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する

VPCから各サービスへの接続方法

- DNSのリゾルバーやプライベートホストゾーン指定
- 各AWSサービスの利用方法

セキュリティ要件

- ファイヤーウォール、ウェブアプリケーションファイヤーウォール

監視・運用

- 監視方法
- 通信ログや名前解決ログ
- トラブルシュート時のデータキャプチャポイント設計

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク接続に関する主な要件

IPアドレスの管理

- オンプレミスとAmazon VPCのIPを重複させない

接続要件

- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する

VPCから各サービスへの接続方法

- DNSのリゾルバーやプライベートホストゾーン指定
- 各AWSサービスの利用方法

セキュリティ要件

- ファイヤーウォール、ウェブアプリケーションファイヤーウォール

監視・運用

- 監視方法
- 通信ログや名前解決ログ
- トラブルシュート時のデータキャプチャポイント設計

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク接続に関する主な要件

IPアドレスの管理

- オンプレミスとAmazon VPCのIPを重複させない

接続要件

- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する

VPCから各サービスへの接続方法

- DNSのリゾルバーやプライベートホストゾーン指定
- 各AWSサービスの利用方法

セキュリティ要件

- ファイヤーウォール、ウェブアプリケーションファイヤーウォール

監視・運用

- 監視方法
- 通信ログや名前解決ログ
- トラブルシュート時のデータキャプチャポイント設計

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク接続に関する主な要件

IPアドレスの管理

- オンプレミスとAmazon VPCのIPを重複させない

接続要件

- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する

VPCから各サービスへの接続方法

- DNSのリゾルバーやプライベートホストゾーン指定
- 各AWSサービスの利用方法

セキュリティ要件

- ファイヤーウォール、ウェブアプリケーションファイヤーウォール

監視・運用

- 監視方法
- 通信ログや名前解決ログ
- トラブルシュート時のデータキャプチャポイント設計

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ネットワーク接続に関する主な要件

IPアドレスの管理

- オンプレミスとAmazon VPCのIPを重複させない

接続要件

- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する

VPCから各サービスへの接続方法

- DNSのリゾルバーやプライベートホストゾーン指定
- 各AWSサービスの利用方法

セキュリティ要件

- ファイヤーウォール、ウェブアプリケーションファイヤーウォール

監視・運用

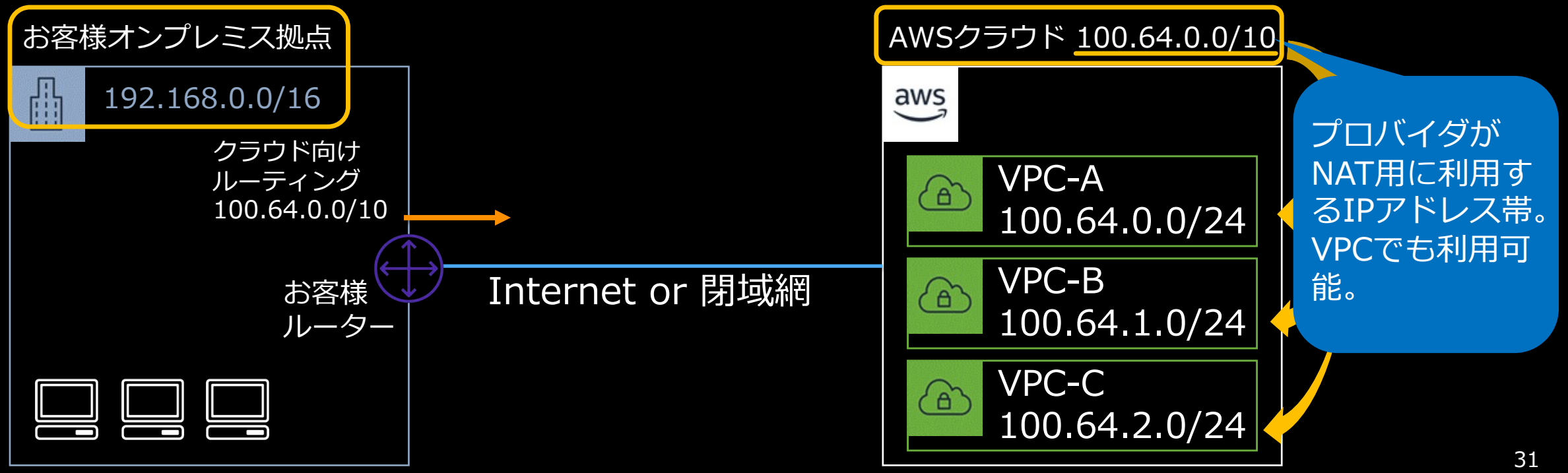
- 監視方法
- 通信ログや名前解決ログ
- トラブルシュート時のデータキャプチャポイント設計

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

IPアドレスの管理

オンプレミスとAmazon VPCのIPを重複させない

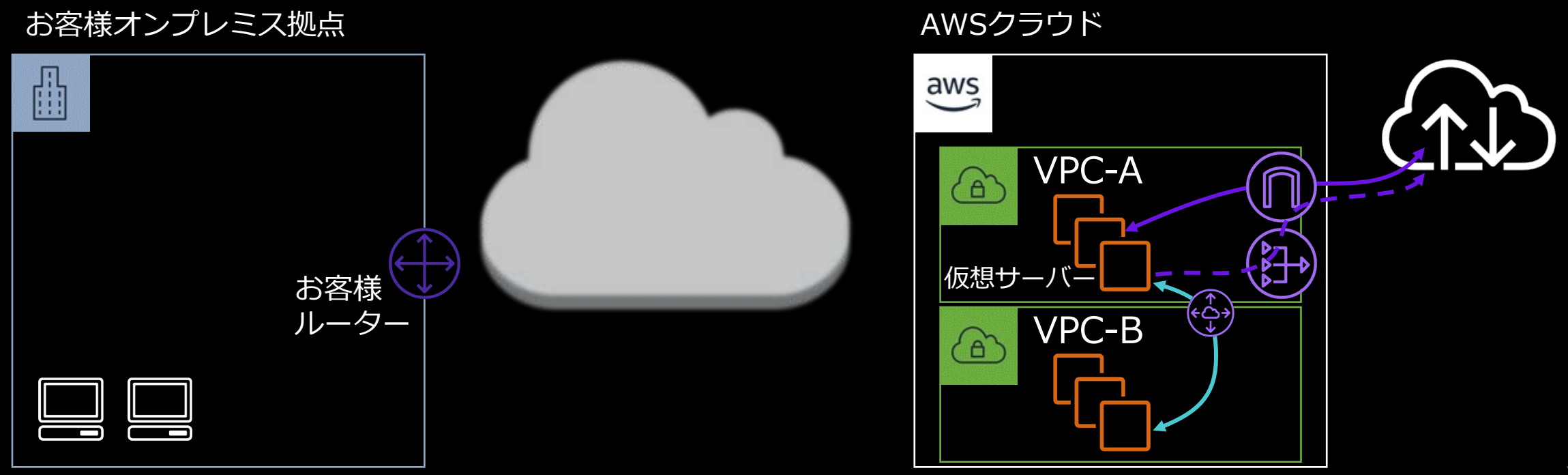
- まとまったIPアドレス帯をクラウドにアサインできると良い
- プライベートIPアドレスが足りない場合、100.64.0.0/10を利用



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

接続要件

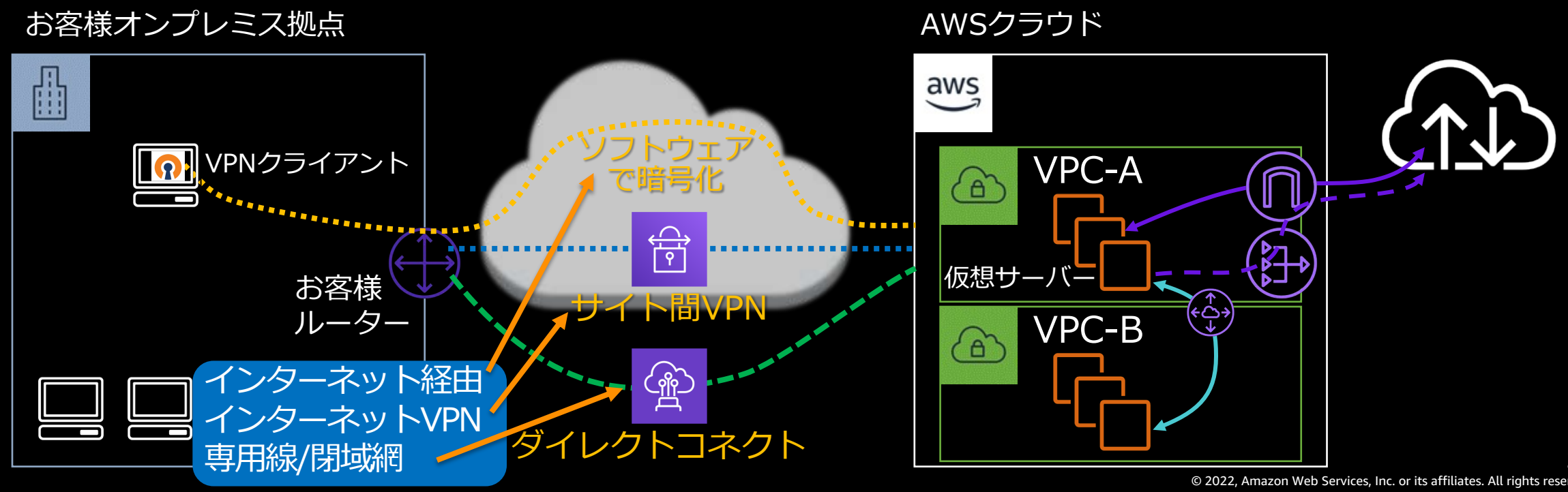
- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

接続要件

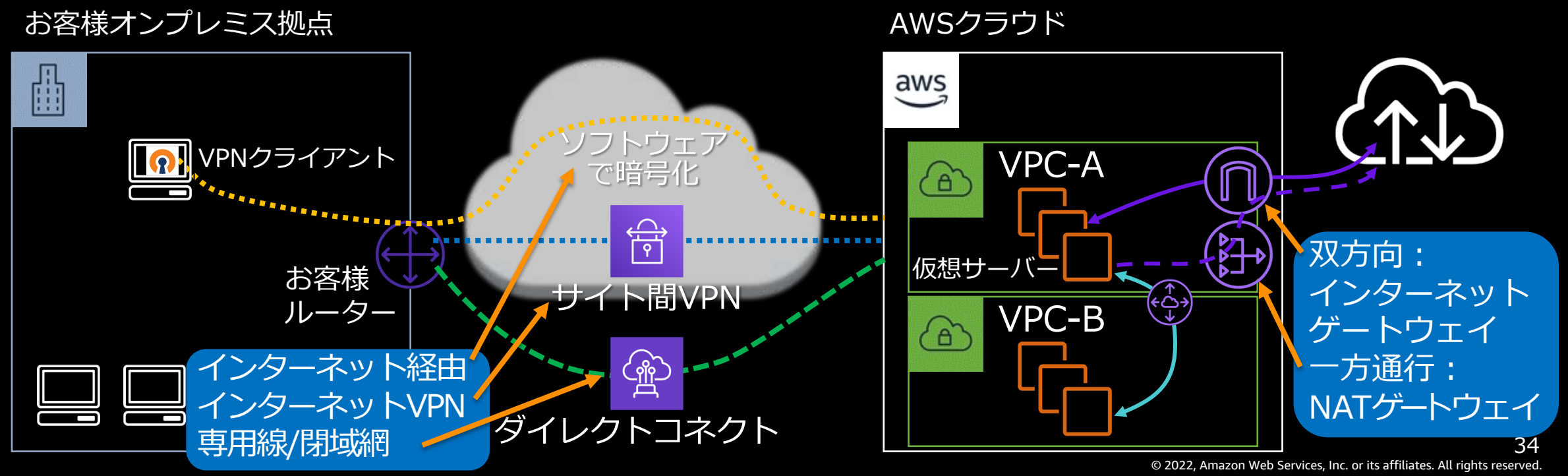
- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

接続要件

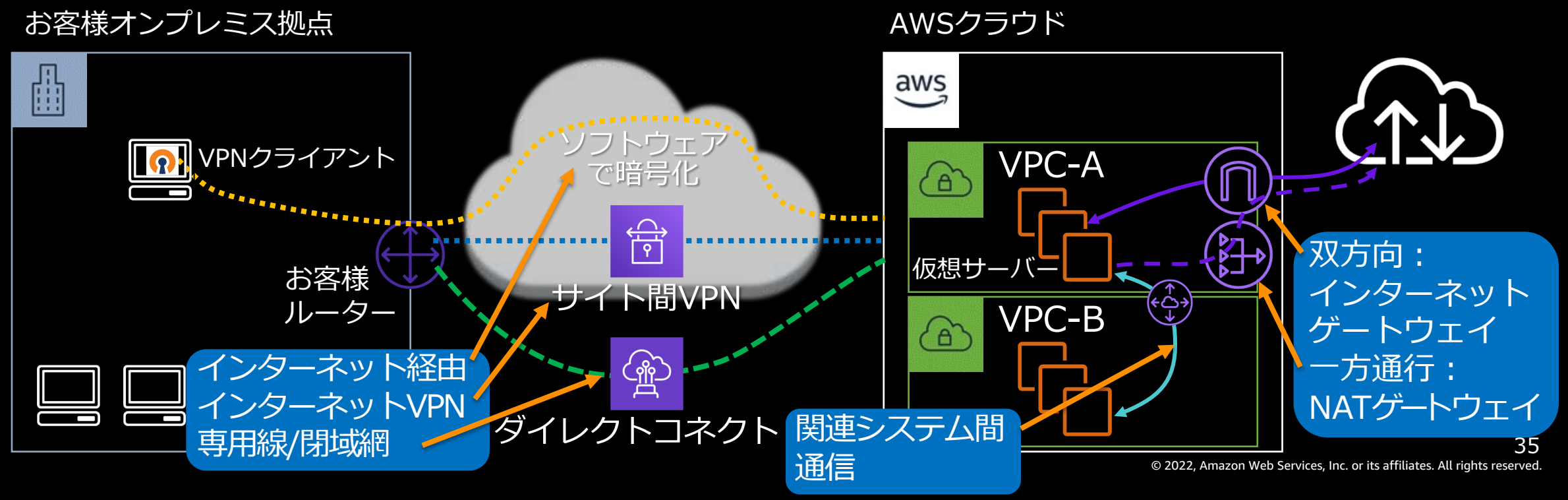
- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

接続要件

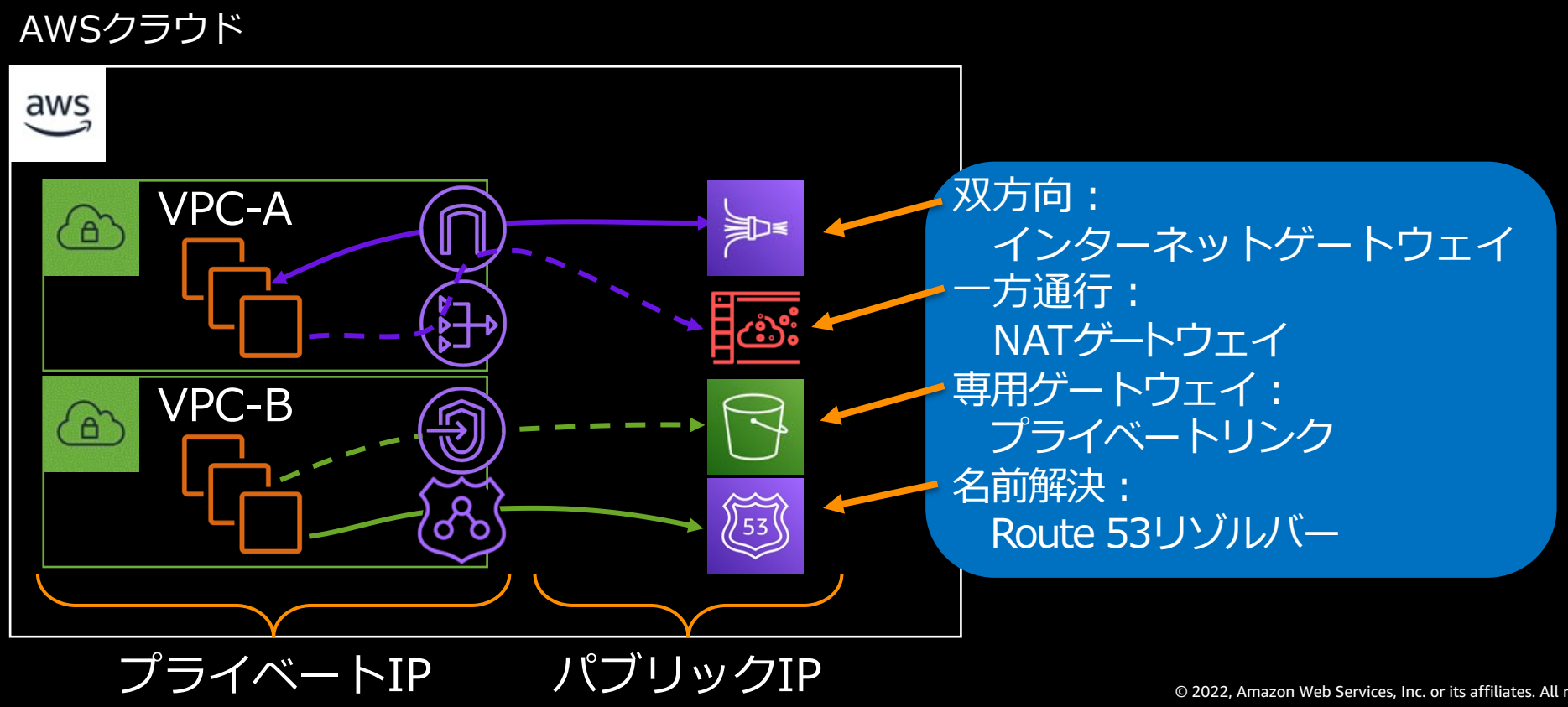
- オンプレミスからAWSへ接続する経路：インターネット経由 or 閉域網経由
- インターネットとの接続：許可する or させない、一部許可する（双方向で検討）
- 異なるシステム間の接続：許可する or させない、一部許可する



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

VPCから各サービスへの接続方法

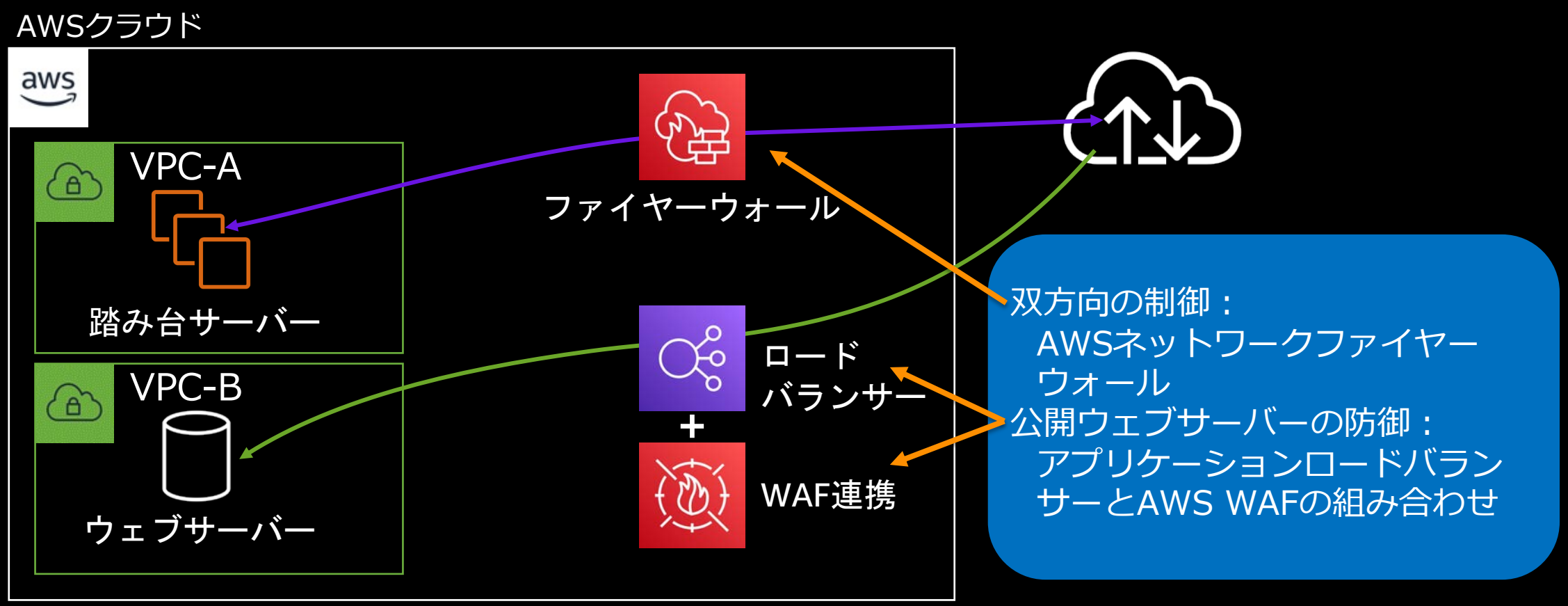
- 各AWSサービスの利用方法
- DNSのリゾルバーやプライベートホストゾーン指定



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

セキュリティ要件

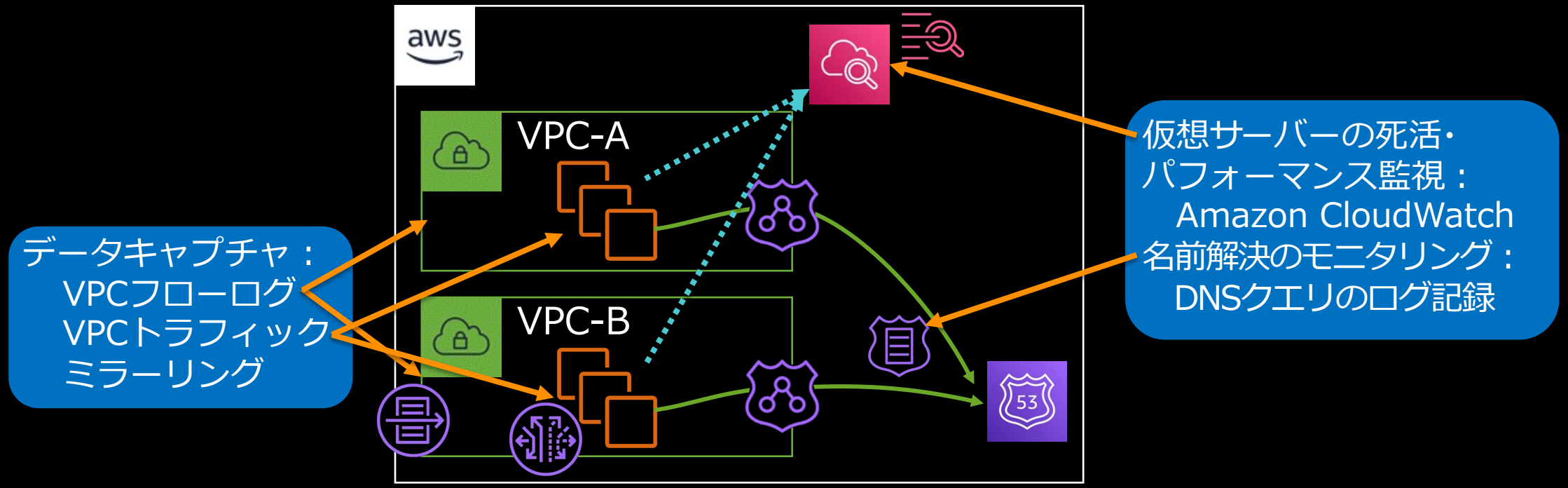
- ファイヤーウォール、ウェブアプリケーションファイヤーウォール(WAF)



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

監視・運用

- 監視方法
- 通信ログや名前解決ログ
- トラブルシュート時のデータキャプチャポイント設計



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

確認した要件を基本的なパターンにあてはめてみる

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

要件に応じて適切なネットワーク構成を選定

次項でAWS上にシステムを構築する際の例を紹介します。

実際にはカスタマイズしたり、パターンを組み合わせることで様々な要件に対応します。構築するシステムに対し、過不足のない環境を構築しましょう。

また、クラウドの利点を活かし、定期的に構成を見直し「必要に応じて拡張・見直しすることを予め運用設計に取り入れておく」ことも有効です。

→ AWS Well-Architectedフレームワーク

パターン１：1つのVPC内にすべてのシステムを配置

パターン２：秘匿性の高い通信を閉域網で守る

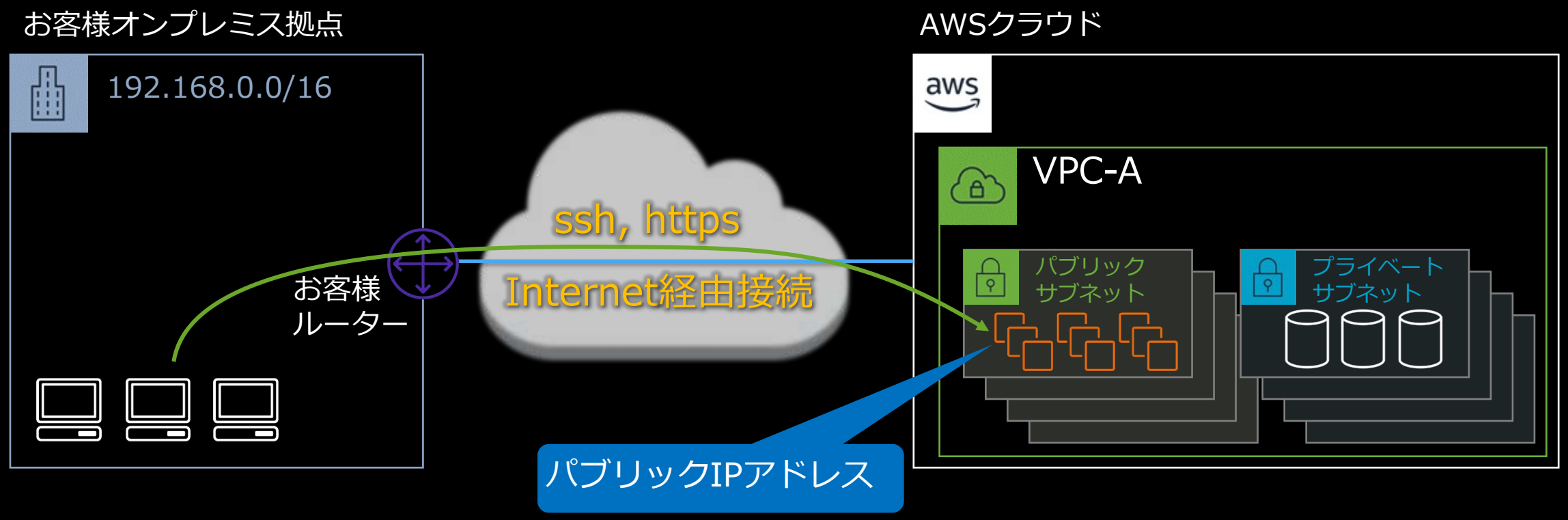
パターン３：専用線による閉域網を利用、通信の一貫性を確保

パターン４：システムごとにVPCを配置、必要に応じ連携させる

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

パターン１：
1つのVPC内にすべてのシステムを配置

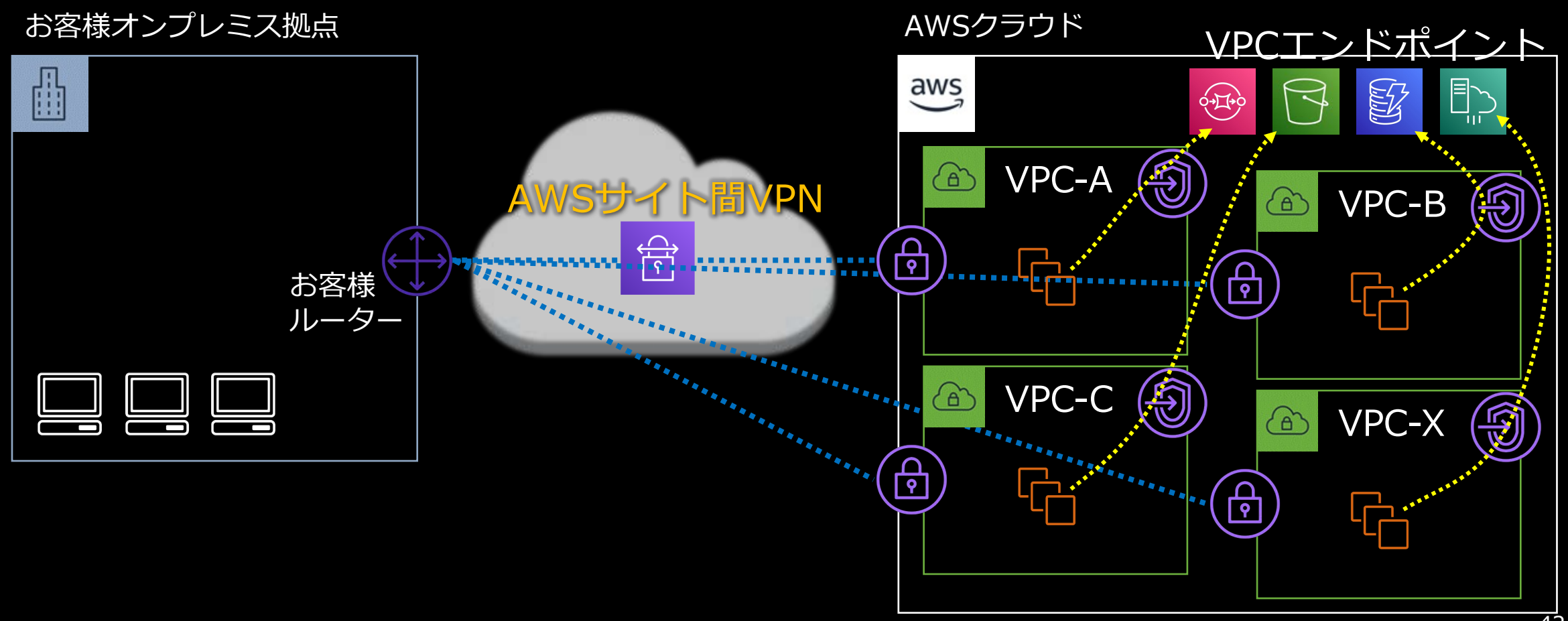
インターネット経由でAWSクラウドへ接続、VPC内に多くのシステムを配置
最もシンプルですぐに使い始めることが可能



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

パターン２：
秘匿性の高い通信を閉域網で守る

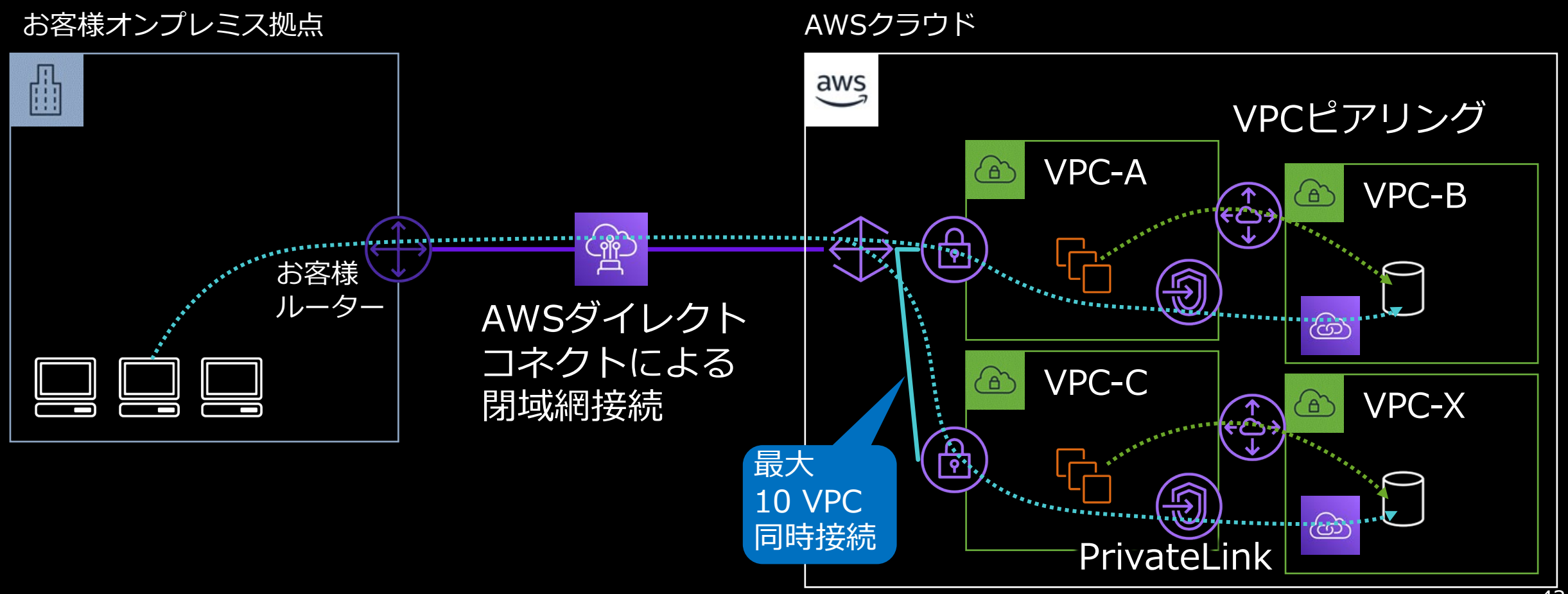
複数のVPCへVPN接続、VPC外のシステムへはVPCエンドポイントでアクセス



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

パターン３：
専用線による閉域網を利用、通信の一貫性を確保

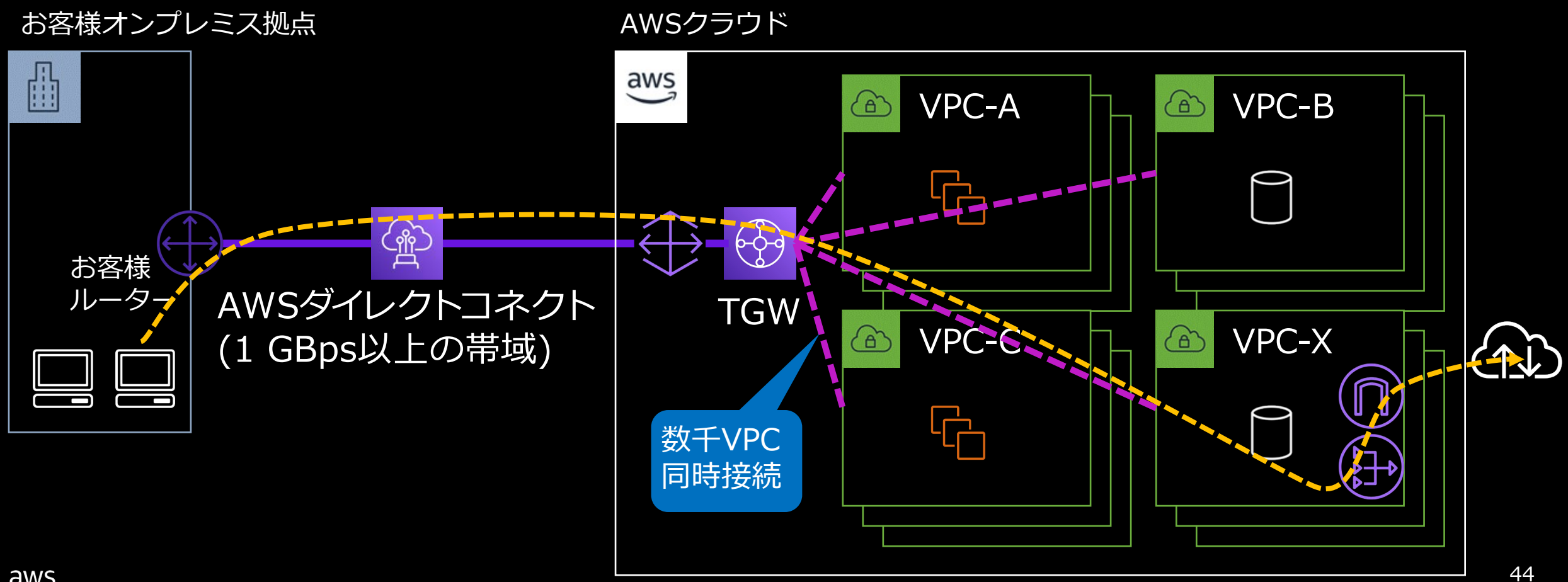
DXとDXGWで複数VPCへ接続、VPC間はピアリングやAWS PrivateLinkを利用



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

パターン４：システムごとにVPCを配置、必要に応じ連携させる

トランジットゲートウェイ(TGW)を中心に各VPCへ接続、コアルーターとして利用



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

参考URL

- AWS リージョン別のサービス
  https://aws.amazon.com/jp/about-aws/global-infrastructure/regional-product-services/
- Black Beltオンラインセミナー：Amazon VPC
  https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/webinar-bb-amazonvpc-2020/
- Black Beltオンラインセミナー：Amazon VPC Advanced
  https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/webinar-bb-amazon-vpc-advanced-2019/
- Black Beltオンラインセミナー：AWS Site-to-Site VPN
  https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/webinar-bb-amazonvpc-2020/
- Black Beltオンラインセミナー：AWS Direct Connect
  https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/webinar-bb-awsdirectconnect-2021/
- Black Beltオンラインセミナー：AWS Transit Gateway
  https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/webinar-bb-aws-transit-gateway-2019/
- 利用料金ページ例：Amazon EC2 オンデマンド料金
  https://aws.amazon.com/jp/ec2/pricing/on-demand/
- AWS アーキテクチャアイコン
  https://aws.amazon.com/jp/architecture/icons/

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

まとめ

1. AWSでネットワークを構成する際にVPC内外に配置する要素を理解できるようになる
   ＞VPCを配置するリージョンを検討、どのような情報で判断すればよいのかを学習しました。
2. AWSネットワークを設計する際に、最初に気をつけなければならない確認ポイントを知ることができる
   ＞設計時に気を付けるべき5つのポイント、IP管理、インターネットとの接続要件、オンプレミスからの接続要件、セキュリティ要件、監視・運用要件を学びました。さらに、4つのパータンを例に、具体的な構成をご覧いただきました。
3. AWSでネットワーク設計をする際に、詳細な資料の探し方を理解できる
   ＞AWS BlackBeltオンラインセミナーや公式ドキュメントのリンクを確認しました。

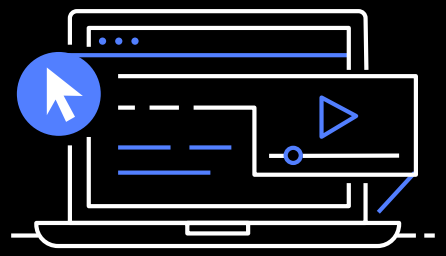
© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

ラスト4: 導入相談ページ

- （現在作成中、後で差し込ませてください。説明しない）

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

AWS デジタルトレーニング



学習方法を柔軟に選ぶことができます。

550以上の無料デジタルトレーニングでクラウドのスキルを身につけることができ、クラスルームトレーニングでさらに深く学ぶこともできます。

おすすめのコース

- **AWS Cloud Practitioner Essentials (Japanese)**
  このコースは、特定の技術領域ではなく、アマゾン ウェブ サービス (AWS) クラウドを全体的に理解したい方を対象としています。受講者は、AWS クラウドの概念、AWS のサービス、セキュリティ、アーキテクチャ、料金、サポートについて学習し、AWS クラウドについての知識を深めます。このコースは、AWS Certified Cloud Practitioner 試験の準備にも役立ちます。

- **Getting Started with AWS Security, Identity, and Compliance (Japanese)**
  このコースでは、AWS のセキュリティテクノロジー、ユースケース、メリット、サービスの概要について説明します。AWS のセキュリティ、アイデンティティ、コンプライアンスのカテゴリにおけるさまざまなサービスを紹介します。このコースを修了すると、クラウド内のセキュリティの重要性を理解し、データの保護に使用する AWS のサービスを選択できるようになります。

- **Moving to Managed Databases on AWS (Japanese)**
  リフトアンドシフト戦略は、クラウドを利用しようとする組織が一般的に採用する方法です。このコースでは、AWS ヒーローである Alex DeBrie が、アマゾン ウェブ サービス (AWS) においてセルフマネージドデータベースからフルマネージドデータベースソリューションに移行することのメリットについて説明します。また、AWS クラウドに移行する際に考慮すべき重要な要素についても学習します。最後に、この Moving to Managed Databases on AWS の 8 つのコースのカリキュラムの一環として、一般的なデータベースの移行に関するユースケースのコースをご紹介します。

aws

aws.amazon.com/training

AWS Builders Online Series に ご参加いただきありがとうございます

楽しんでいただけましたか? ぜひアンケートにご協力ください。
本日のイベントに関するご意見/ご感想や今後のイベントについての
ご希望や改善のご提案などがございましたら、ぜひお聞かせください。

aws-apj-marketing@amazon.com

twitter.com/awscloud_jp

facebook.com/600986860012140

https://www.youtube.com/user/AmazonWebServicesJP

https://www.linkedin.com/showcase/aws-careers/

twitch.tv/aws

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

Thank you!

菊地 信明

nkikuch@amazon.co.jp

aws

© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.